

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 毒ガス
問題 第2次移送

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43781

国防省発表

国防省発表

二月五日午前十時(現地時間) (日本時間二月六日午前零時)
(アメリカ局北米第一課仮訳)

メルヴィン・E・レアード国防長官は、本日、沖縄からの化学兵器の撤去は、今年の盛夏または晩夏までには完了する予定である旨を発表した。

国防長官が強調したことは、この予定は、第一次船積みのために使用されたと同一搬送ルートを使用することを基礎にしたものであり、別の搬送ルートが選定された場合に起りうべき遅延については考慮されておかないということである。沖縄におけるかかる遅延も、もしくはグロムストン島における予期しない工事の遅延も、または、その他の予慮しえない事態も生じないとすれば、化学兵器の最終分は、この夏

沖縄から撤去されることとなる。ひとたび作業が開始されれば、沖縄における搬送作業は、約二ヵ月で終了しよう。

工事が進捗するにつれて、次回船積み開始のより具体的日取りを予想することが可能となる。